



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 東ブレ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山本 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	273,227	0.4	18,274	6.8	24,083	12.8	12,539	28.7
2025年3月期第3四半期	274,284	5.7	17,106	29.5	21,343	1.1	9,743	32.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 21,558百万円 (105.8%) 2025年3月期第3四半期 10,473百万円 (45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	252.76	
2025年3月期第3四半期	191.23	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	369,227	238,435	63.6	4,749.31
2025年3月期	371,086	223,257	59.2	4,338.28

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 234,703百万円 2025年3月期 219,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		35.00		50.00	85.00
2026年3月期		40.00			
2026年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期 期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 記念配当10円00銭(創立90周年記念配当)

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	1.0	24,000	16.2	27,000	1.4	13,000	8.1	262.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 社 (社名) — 、 除外 2 社 (社名) PT.TOPRE INDONESIA AUTOPARTS  
AAPICO Mitsuike (Thailand) CO.,Ltd.

(注) 詳細は、添付資料 P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	54,021,824 株	2025年3月期	54,021,824 株
2026年3月期3Q	4,603,302 株	2025年3月期	3,391,002 株
2026年3月期3Q	49,612,019 株	2025年3月期3Q	50,952,795 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	12
3. その他 .....	12
(継続企業の前提に関する重要事象等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高2,732億2千7百万円、前年同期比10億5千6百万円の減収(0.4%減)、営業利益182億7千4百万円、前年同期比11億6千8百万円の増益(6.8%増)となりました。経常利益は、外貨建て債権の評価による為替影響などにより、240億8千3百万円、前年同期比27億4千万円の増益(12.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、125億3千9百万円、前年同期比27億9千6百万円の増益(28.7%増)となりました。

#### ②事業セグメント別の状況

##### <プレス関連製品事業>

プレス関連製品事業におきましては、主に国内での物量減少などにより、プレス関連製品事業全体での売上高は、2,144億8千9百万円、前年同期比59億3千9百万円の減収(2.7%減)となりました。利益面では、アメリカでの利益改善効果などによる増益はあったものの、国内での物量減少による減益などにより、セグメント利益(営業利益)は103億3千8百万円、前年同期比7千1百万円の減益(0.7%減)となりました。

##### <定温物流関連事業>

定温物流関連事業におきましては、冷凍車部門において、中型車及び大型車の販売台数増加などにより、売上高は前年同期を上回りました。その結果、定温物流関連事業全体での売上高は、475億7百万円、前年同期比45億5千7百万円の増収(10.6%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、68億6千9百万円、前年同期比12億3千7百万円の増益(22.0%増)となりました。

##### <その他>

空調機器部門におきましては、送風機部門及び住宅部門が堅調に推移した一方、建設業界の人員不足や資材の値上がり、建築費高騰により、半導体工場・オフィスビルの工事延期及び中止があり、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」の国内販売台数が市況影響により減少しましたが、OEM製品のカスタムキーボード及び工作機械向けタッチパネル応用製品の販売台数が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。一方、原材料費などの上昇により、営業利益は前年同期を下回りました。

輸送事業におきましては、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、その他の事業全体での売上高は、112億3千万円、前年同期比3億2千4百万円の増収(3.0%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、10億6千5百万円、前年同期比1千4百万円の増益(1.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債、純資産の状況

##### (資産の部)

流動資産は、主に有価証券の減少などにより、1,615億9千2百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産の増加などにより、2,076億3千5百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億5千8百万円減少の3,692億2千7百万円となりました。

##### (負債の部)

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少などにより、825億4千8百万円となりました。

固定負債は、主に社債の増加などにより、482億4千3百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ170億3千7百万円減少の1,307億9千1百万円となりました。

##### (純資産の部)

主に利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ151億7千8百万円増加の2,384億3千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期連結業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル150円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,427	53,439
受取手形及び売掛金	60,016	53,237
有価証券	12,628	2,996
棚卸資産	32,518	40,728
その他	10,336	11,191
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	173,927	161,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,747	73,691
機械装置及び運搬具（純額）	53,268	48,080
建設仮勘定	28,986	25,591
その他（純額）	21,931	24,761
有形固定資産合計	164,935	172,125
無形固定資産	1,793	1,429
投資その他の資産		
投資有価証券	19,610	22,420
退職給付に係る資産	5,383	5,650
その他	5,445	6,095
貸倒引当金	△9	△85
投資その他の資産合計	30,430	34,080
固定資産合計	197,159	207,635
資産合計	371,086	369,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,062	50,210
1年内返済予定の長期借入金	8,867	9,457
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	6,228	3,202
賞与引当金	3,175	1,528
役員賞与引当金	101	72
製品保証引当金	234	229
その他	17,744	17,847
流動負債合計	108,414	82,548
固定負債		
社債	10,000	15,500
長期借入金	21,520	23,063
長期末払金	7	7
繰延税金負債	6,331	7,918
P C B 処理引当金	21	19
役員株式給付引当金	162	220
退職給付に係る負債	365	362
その他	1,005	1,150
固定負債合計	39,414	48,243
負債合計	147,829	130,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,916	4,916
利益剰余金	190,288	198,683
自己株式	△5,065	△7,278
株主資本合計	195,749	201,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,745	9,012
為替換算調整勘定	15,733	22,391
退職給付に係る調整累計額	1,421	1,367
その他の包括利益累計額合計	23,900	32,772
非支配株主持分	3,606	3,731
純資産合計	223,257	238,435
負債純資産合計	371,086	369,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	274,284	273,227
売上原価	243,083	240,472
売上総利益	31,200	32,755
販売費及び一般管理費	14,094	14,480
営業利益	17,106	18,274
営業外収益		
受取利息	771	604
受取配当金	569	623
有価証券評価益	-	18
固定資産賃貸料	44	44
貸倒引当金戻入額	0	0
為替差益	2,918	4,300
助成金収入	93	251
持分法による投資利益	-	167
その他	412	247
営業外収益合計	4,809	6,257
営業外費用		
支払利息	123	161
社債利息	61	96
有価証券売却損	-	18
固定資産賃貸費用	5	4
持分法による投資損失	205	-
外国源泉税	54	34
社債発行費	49	30
その他	73	102
営業外費用合計	572	447
経常利益	21,343	24,083
特別利益		
固定資産売却益	87	131
投資有価証券売却益	437	708
その他	6	0
特別利益合計	531	839
特別損失		
固定資産除却損	44	117
減損損失	4,439	3,570
事業構造改善引当金繰入額	-	55
事業整理損	-	196
その他	1	0
特別損失合計	4,484	3,939
税金等調整前四半期純利益	17,390	20,984
法人税、住民税及び事業税	6,615	7,996
法人税等調整額	912	295
法人税等合計	7,528	8,292
四半期純利益	9,862	12,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	151
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,743	12,539



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	9,862	12,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	2,257
為替換算調整勘定	389	6,885
退職給付に係る調整額	△57	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	97	△223
その他の包括利益合計	611	8,866
四半期包括利益	10,473	21,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,363	21,411
非支配株主に係る四半期包括利益	109	147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,215,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,217百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が7,278百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であったPT. TOPRE INDONESIA AUTOPARTSは、重要性が低下したため同社を連結の範囲から除外しております。

また、当社の連結子会社である三池工業株式会社が保有するAAPICO Mitsuike (Thailand) CO., Ltdの全株式を2025年9月10日に売却しました。これに伴い、AAPICO Mitsuike (Thailand) CO., Ltdを持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 1 減損損失

以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類
東普雷（襄陽）汽車部件有限公司	事業用資産	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、 工具、器具及び備品、ソフトウェア、 借地権
東普雷（武漢）汽車部件有限公司	事業用資産	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、 工具、器具及び備品、ソフトウェア、 借地権、建設仮勘定

(2) 減損損失の認識に至った経緯

資産グループについて、市場および環境の変化に伴う収益性の低下による減損の兆候が認められ、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(3) 減損損失の金額

(単位：百万円)

種類	東普雷（襄陽）汽車部件 有限公司	東普雷（武漢）汽車部件 有限公司
建物及び構築物	896	1,009
機械装置及び運搬具	1,223	278
工具、器具及び備品	85	127
ソフトウェア	20	10
借地権	468	286
建設仮勘定	—	32
計	2,693	1,746

(4) 資産のグルーピングの方法

当社の連結子会社については、会社単位を基礎としてグルーピングを行っております。

(5) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、使用価値により算定しております。

使用価値は将来キャッシュ・フロー（割引率は主として12.7%）に基づき算定しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（1）減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類
三池工業株式会社	事業用資産	機械装置及び運搬具、 工具、器具及び備品、ソフトウェア
東普雷（佛山）汽車部件有限公司	事業用資産	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、 工具、器具及び備品、ソフトウェア、 借地権
広州三池汽車配件有限公司	事業用資産	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、 工具、器具及び備品、ソフトウェア、 借地権

（2）減損損失の認識に至った経緯

資産グループについて、市場および環境の変化に伴う収益性の低下による減損の兆候が認められ、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

（3）減損損失の金額

（単位：百万円）

種類	三池工業 株式会社	東普雷（佛山） 汽車部件有限公司	広州三池 汽車配件有限公司
建物及び構築物	—	726	108
機械装置及び運搬具	4	1,647	517
工具、器具及び備品	1	217	53
ソフトウェア	2	16	0
借地権	—	189	82
計	8	2,797	764

（4）資産のグルーピングの方法

当社の連結子会社については、会社単位を基礎としてグルーピングを行っております。

（5）回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、使用価値により算定しております。

使用価値は将来キャッシュ・フロー（割引率は主として11.6%）に基づき算定しております。

## ※2 事業整理損

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

得意先の生産調整に伴い、当社の連結子会社である東普雷（武漢）汽車部件有限公司の事業整理を行った結果、発生した損失196百万円を特別損失として計上いたしました。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	19,187百万円	17,844百万円

（セグメント情報等の注記）

### 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	220,429	42,949	263,378	10,905	274,284	—	274,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	21	21	1,114	1,135	△1,135	—
計	220,429	42,970	263,399	12,020	275,420	△1,135	274,284
セグメント利益	10,409	5,632	16,041	1,051	17,093	12	17,106

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産（株）、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益の調整は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当初想定していた収益が見込めなくなったため、当社の連結子会社である東普雷（襄陽）汽車部件有限公司及び東普雷（武漢）汽車部件有限公司でのプレス事業で有する建物及び構築物ならびに機械装置及び運搬具等について減損損失4,439百万円を計上しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	214,489	47,507	261,996	11,230	273,227	-	273,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	20	20	1,074	1,095	△1,095	-
計	214,489	47,527	262,017	12,305	274,322	△1,095	273,227
セグメント利益	10,338	6,869	17,207	1,065	18,273	0	18,274

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益の調整は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当初想定していた収益が見込めなくなったため、当社の連結子会社である三池工業株式会社、東普雷（佛山）汽車部件有限公司及び広州三池汽车配件有限公司でのプレス事業で有する建物及び構築物ならびに機械装置及び運搬具等について減損損失3,570百万円を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。